

平成21年3月19日

各 位

上場会社名 株式会社 ソフト99コーポレーション
 代表者 代表取締役社長兼会長 田中 明三
 (コード番号 4464)
 問合せ先責任者 専務取締役 土堤内 清嗣
 (TEL 06-6942-8761)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,500	1,600	1,850	450	20.61
今回発表予想(B)	20,600	1,000	1,200	△2,800	△128.70
増減額(B-A)	△900	△600	△650	△3,250	――
増減率(%)	△4.2	△37.5	△35.1	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	21,487	1,477	1,766	672	30.71

修正の理由

クルマ事業部門の製品販売で、景気低迷による自動車買い控えの影響で、美装業者向けのコーティング剤が下期苦戦したこと、一般消費者向けのカー用品の単価下落がすすんだこと、また、円高が進み、海外向けの輸出高が減少したことで減収となり、年度前半の原材料価格高騰の影響と減収の影響による工場稼働率の低下による原価率の上昇により減益となる見込みです。

クルマ事業部門のサービスは、自動車教習事業において、少子化により入所者が想定以上に減少し、損失計上となり、クルマ事業部門全体では減収減益となる見込みです。

また、暮らし事業部門において、スーパー銭湯を運営する温浴事業が、近隣の競合店の相次ぐ出店の影響と改装による休業の影響で売上が減少し損失を計上したことで減収減益となる見込みです。

産業部門において、年度後半に半導体業界の不況により苦戦し、工場の稼働率が低下したことにより大幅な減収減益となる見込みです。

これらを要因に、売上高・営業利益・経常利益の業績予想を変更いたします。またそれらに加えて損失を計上した子会社において、固定資産の減損損失を計上したこと及び株式市場の低迷により保有する有価証券の評価損を計上したことで、当期純利益が大幅に減少する見込みです。

以 上